能阿弥銘書

天正年間

一 備後国 一乗（ひんこ）

正家 尾道

正廣 尾道

貞廣 尾道

助国

備州住正廣作

三原ハ古刀無銘也子細アリ

同国きさ〻三原と又同国とも〻二而所ニほんしやうはらと

之也似上四人アリ何も銘を打事なし右ハ下類にて代やす

かりし近年天下一乱ニ付而一所一所ニを起て物切タルニ

依テ応仁文明頃ヨリ世間ニ用之也無銘

写し置く候也如此二すりタルモアリ

近代ヨリ千疋

きさ〻三原

古三原

中心

古三原子也

藤三郎也

如此三原ニすりわけたるもあり

模写した部分の原本は島根県安来市和鋼博物館蔵

令和八年（二〇二六年）一月一日

其阿彌秀文編集